

第2回三次市学校給食調理場整備計画策定委員会における意見の概要

- 1 開催日時 令和元年11月8日(金)
13時30分～15時30分 市内調理場(2箇所)視察
15時40分～17時05分 意見交換等「きりりスタジオ2」

2 意見の概要

市内調理場(2箇所)の視察をして

【三次学校給食共同調理場及び川地小学校給食調理場の視察】

- ◇調理を行うのに不揃いな野菜や規格外のものは取り扱いが困難であることが理解できた。
- ◇いずれも古い施設であるが、きれいにされている。しかし、衛生管理の観点で様々な危険性を孕んでいる状況がよく分かった。
- ◇現行のウェットシステムは、カビの発生や菌の繁殖等の2次汚染につながりやすい。
- ◇元々ドライシステムではない施設でドライ化運用をしてきた。水をこぼさないようトレイを使うが、その分洗い物が増える。
- ◇洗い場が狭小で、大きな食缶を洗う機器等の導入が困難な状況である。
- ◇調理の多様化のための機器を空いているスペースに配置せざるを得ず、その結果手狭になり、作業動線も混線し無駄が多くなっている。
- ◇汚染・非汚染の部屋の区別がなされない中、現場の職員の努力により衛生面が守られている状態だとわかった。
- ◇現場の職員の努力で施設(ハード)の衛生管理を補っていることが間違いであり、衛生面の設備などが整った施設を、早期に整備する必要があるとつくづく感じた。
- ◇施設の的に問題があり、衛生面が整った施設が必要である。現行の施設で、将来的に継続して給食を提供することは困難であり、建替えが必要である。
- ◇現状では好ましくない状況を保護者の方にも見ていただきたい気持ちになった。

検討資料を確認して

- ◇庄原市は、用途制限地域内でも調理場が建設されている。規模により許可が出るものなのか。
⇒後日、庄原市に確認を行い、広島県建築審査会の許可を受け建設を行った旨回答あり。
(公益性及び住環境に対する配慮など複数の要件あり)
- ◇災害防災機能を考えるなら費用の面は別として、複数箇所への整備を行い、河川の氾濫などで分断されても供給できるようにしてはどうか。(例：三川で分かれている箇所毎に3箇所に建設など)
- ◇敷地面積が広く必要のようだが、2階建ての施設はあり得るか。
⇒一般的には1階部分は作業スペース、2階部分は食育等のスペースや調理員の更衣や休憩室となっている。配送用のトラックヤード等が必要なため、一定程度の面積は必要な旨事務局から説明。